

2024年度

## 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 音 楽 I 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 高 校 生 の 音 楽 ① 〕 〔 使 用 副 読 本 : Mistic Navigation 〕

学 期	授 業 回	項 目	教 科 書		副 読 本
			内 容	ペ ー ジ	ペ ー ジ
前 期	1	日本の伝統音楽、民謡	日本の伝統音楽の特徴を知り	p60～67	p42,43
		楽典（音名）	鑑賞を通して日本文化を学ぶ。	p140～143,150	p65～67
	2	歌唱、楽典（記譜法、写譜）	「校歌」の歌唱。記譜の方法を学ぶ。	p150	p64,65,ナビ
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	3	歌唱（ドイツ歌曲）	Die Lindenbaum	p40,41	
		楽典（楽語）	楽語を理解する。	p153	p97～100
	4	楽典（音階、音価）	音階と調、音価を学ぶ。	p150	
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	5	鑑賞	クラシック音楽の名作の聴き方を学ぶ。	教員が選曲	
	6	楽典（拍子）	様々な拍子の数え方と標記方法を学ぶ。		
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	7	西洋音楽史①	バロック時代、古典派の音楽を学ぶ。	p128～133	p8～19
8	楽典（コードネーム）	和音とコードネームを学ぶ。	p156,157	p86～90	
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲		
9	西洋音楽史②	ロマン派、近現代の音楽を学ぶ。	p134～137	p20～37	
10	創作	拍子を理解して作曲する。			
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲		
11	オペラ鑑賞	La traviata	p44～45		
12	世界の民族音楽	世界の民族音楽から異文化理解を深める。	p54～59		
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲		

レポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締 切 日
前 半	1	日本の伝統音楽（歌舞伎）	5/9
		日本音名	
		民謡	
	2	写譜	
		音価	
3	ドイツ歌曲		
	Die Lindenbaum		
後 半	4	鑑賞	6/6
	5	西洋音楽史	
		作曲	
6	アルトリコーダー運指		
	世界の民族音楽 （インドネシア）		
	コードネーム		

2024年度

## 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 美 術 I 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 高 校 生 の 美 術 I 〕 〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

授業回	項目	教 科 書		副読本
		内 容	ページ	ページ
1	模写デッサン	鉛筆の表現。	p132~135	
		グラデーションを描く。		
2	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き	p132~135	
		写す。立方体を描く。		
3	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き	p132~135	
		写す。幾何形態を描く。		
4	レタリング	文字のプロポーションを学ぶ。	p149	
		骨格、エレメントなど。		
5	レタリング	和文字とアルファベットの違いを学	p149	
6	レタリング	明朝体とゴシック体の違いを学ぶ。	p149	
7	色彩構成	色の3原色を使い、混色を学ぶ。	p152~154	
		黄←→青、赤←→青、黄←→赤		
8	色彩構成	2色以上の色を混ぜて混色と色彩調和を	p152~154	
		学ぶ。色彩構成、平面構成		
9	色彩構成	3色以上の色を混ぜて混色と色彩調和を	p152~154	
		学ぶ。色彩構成、平面構成		
10	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役	p76,77	
		割を理解し、具体的な形に表現する。		
11	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役	p76,77	
		割を理解し、具体的な形に表現する。		
12	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役	p76,77	
		割を理解し、具体的な形に表現する。		

レポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	デッサン基礎	5/9
		「5段階のグレースケール」	
		陰影・中間色の表現	
	2	レタリング	
		「永」 明朝体	
		デザインの基礎	
3	水彩「屋内の風景」		
	水彩技法		
	パースの概念		
後 半	4	デッサン	6/6
		「立体感の表現」球体を描く	
		タッチの概念	
	5	ピクトグラム	
		「クラブ活動」	
		コンセプトを立てる	
6	要素の引き算		
	鑑賞・美術史		
	絵画・彫刻・デザインの歴史		
		作品に対する言語表現	

2024年度

## 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 書 道 I 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 東 京 書 籍 〕 〔 使 用 副 読 本 : 高 校 硬 筆 の 練 習 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
前 期	1	楷書の学習	欧陽詢の整然として隙がない楷書を 臨書する。	p16~33	
	2	九成宮醴泉銘	楷書の特徴と唐の四大家について学	p22~23	
	3	行書の学習	行書の特徴を理解し、用筆法を学ぶ。	p38~57	
	4	風信帖	空海について学ぶ。 文字の配置に気を付けて、臨書する。	p52~57	
	5	隸書の学習	隸書の特徴を理解する。 蔵鋒、波磔などの用筆法を学ぶ。	p62~65	
	6	曹全碑	曹全碑を臨書する。	p64~65	
	7	仮名の学習	仮名の成り立ちを学ぶ。 いろは歌	p76~85	
	8	蓬菜切	蓬菜切を臨書する。	p86~87	
	9	漢字の書の創作	古典の臨書や鑑賞を通して身に付けた 方法をもとに、漢字の書の制作をする。	p70~73	
	10	創作	草稿を作り、練習して作品にまとめ		
	11	漢字仮名交じり文	自分の表現を目指して、制作の意図に 応じて、工夫する。	p106~123	
	12	創作	これまでに学んだ名筆の表現を生かし 創作する。		

レポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	「 清 泉 」	5/9
	2	「 風 信 雲 書 」	
	3	ペン字教本 原稿用紙の書き方を学ぶ	
後 半	4	「 世 紀 」	6/6
	5	「おほぞらに むれたつ ~かな」	
	6	漢字の成立と変遷 中国と日本の書家	

2024年度

## 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔科目名：ピアノ基礎〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：指導者作成〕〔使用副読本：なし〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本	
			内容	ページ	ページ	
前	1	右手の弾き歌い	右手のみ基本ポジションの曲。	p1-3		
	2	右手の弾き歌い	オクターブの音域や指使いが変わる	p4-5		
	3	両手（左単音）の弾き歌い	左手が単音の伴奏。	p6-7		
4	両手（左単音）の弾き歌い	左手の単音の音が増えた曲。	P8-10			
5	両手（左単音）の弾き歌い	右手が付点の曲。	p11-13			
期	6	両手（左単音）の弾き歌い	4分の4拍子以外の曲。	p14-16		
	7	両手（左和音）の弾き歌い	左手が和音の曲。	p17-18		
	8	八長調以外の曲の弾き歌い	ト長調、ヘ長調、イ短調の曲。	p19-22		
9	実習	テキストの6曲から選択。	p24-32			
10						
11						
12						

レポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	鍵盤の場所	8/3
		ト音記号とヘ音記号	
		強弱記号	
	2	ト音記号の音	
		楽典	
		臨時記号	
3	ヘ音記号の音		
	楽典		
	半音と全音		
後 半	4	音価	8/3
	5	拍子	
		和音と鍵盤の場所	
6	音階		
	音階と鍵盤の場所		
	調号		